

参考4 渇水の状況

愛知県では、水の安定供給を図るためダム等の水資源開発に努めています。

ダム等の水源施設は、経済性を考慮しつつ、概ね10年に1回程度発生する渇水に対応できるよう計画されていますが、近年は少雨の年と多雨の年の降水量の差が次第に大きくなるとともに、集中豪雨が頻発する一方で、梅雨時でも雨が降らないなど、1年の中でも雨の降り方にばらつきが発生していることから、渇水発生の危険性が高まっています。

ここ数年、県内で節水は実施されていないものの、異常気象により、いつ大渇水が起こるとも限りません。水は生命の源であり、産業活動を支える重要な資源です。この大切な水もけっして豊富でなく、いまや限りある貴重な資源となっていることを十分認識する必要があります。

〈愛知県における近年の節水の状況〉

年			平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年										
水系	ダム	用途	節水期間	最大節水率	節水期間	最大節水率	節水期間	最大節水率	節水期間	最大節水率	節水期間	最大節水率									
木曾川	牧尾ダム	生活用水	節水なし		4.5 ~7.1	10	節水なし		節水なし		節水なし										
		工業用水				20															
		農業用水				20															
	岩屋ダム	生活用水																			
		工業用水																			
		農業用水																			
	阿木川ダム 味噌川ダム	生活用水																			
		工業用水																			
	矢作川	矢作ダム			生活用水																
工業用水																					
農業用水																					
豊川	宇連ダム 大島ダム	生活用水			4.12 ~6.18	15															
		工業用水				15															
		農業用水				15															

資料：県建設局